

「私」という自分

○学習書P14～19

問三、問題文「どういうことだったのか。」と問われています。

解答の仕方「~~~~~ということ。」とします。

問六、選択肢問題は、根拠を本文に求めること。

「意味ある存在」とはどういうことか。

↓おばさんが「私」の〇〇〇に影響を与えた存在だということ。

根拠にあたる箇所 P一七・五～P一八・六

↓おばさんの親切によって、見知らぬ地で困っていた「私」はバスに乗ることができた。

その経験から外国に行くときはその土地の言葉を覚えてから行くべきだ（という考え方を持った）。もし困っている人を見つけたら助けてあげたいな（という意識になった）
思った。

問八、学習書P19をチェックします。

「情けは人の・・・」

○学習書P62～70

問一、選択肢問題

学習書P64②を参照。「説明」とは「情けは人のためならず」の意味を説明すること。

男の子は正しいことわざの意味を説明できずにいた、その応援をしたい作者であるという点を押さえます。

問二、「そついう男の子」とはどんな男の子か。

指示語の内容は、原則、前文・前段の範囲を見るようにします。

問三、答えるのは、ことわざの本来の正しい意味です。本文では誤用が載っています。

問四、問題文 誤用が広まったのはなぜか。

教科書P七五・9「そついう共感を呼ぶ内容だからこそ、これほどまでに誤用が広がった」⇨解答の中心文

指示語「そついう」を明らかにする。

↓ 誤用が広まったのは、

から。

問五、本文の内容に沿っているものを選ぶ。

学習書P63～64の要旨を押さえて選ぶこと。

一般論として正しい内容が必ずしも筆者の主張とは限らないので注意が必要。